

発行 13ひろば編集委員会
 責任者 棧敷マリ子
 事務局 上馬まちづくりセンター
 住所 世田谷区上馬4-1-3
 電話 (3422)7415
 FAX (5486)7668
<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/01/166/2305/2336/2456/d00037438.html>



上馬地区キャラクター
かみじいさん



花粉症
お大事に!

上馬地区高齢者見守り ネットワーク会議開かれる

高齢化のすすむなか、これからの地域のことにとどう向かい合
い、取り組んでいくのか上馬地
区のネットワーク会議が昨年6
月24日、まちづくりセンター会
議室で行われました。(年3回開
催)

日頃、各専門分野で地域を支
えている事業所、団体が現在と
近い将来の問題に取り組むため
の有機的な関係づくりを目指し
て世田谷区、上馬あんしんすこ
やかセンター(地域包括支援セ
ンター)世田谷地域社会福祉協
議会、上馬まちづくりセンター
の働きかけで始められました。
各町会、世田谷総合支所保健福
祉課、主任児童委員、世田谷上
馬郵便局、世田谷消防署、世田
谷警察署、地区民生委員、介護
事業所、商店会、会社、学校、
病院、薬局、各種クラブ、支援
事業者など49の団体の参加の
もとネットワーク会議が行われ
ました。



笑いも交えて熱心に会議中

まちづくりセンター中澤所長
のあいさつに続き、会議の目的

について、上馬あんしんすこ

かセンター黒崎さんから、平成
18年にこの会議への取り組み
が始まり、まちづくりセンター、
社会福祉協議会、あんしんすこ
やかセンターの3者による高齢
者だけでなく、災害時のこと、
買物に行けない人など、日常の
問題への取り組みから始まった
と経緯の説明がありました。
続いて、地区内の3つの活動
が紹介されました。

Navio(ナビオ)けやきの
鈴木氏。発達、精神障害の方の
就労支援を行っている。ポスタ
ーの印刷や、その他の事業を通
じて地域と連携した事業所の地
域化をすすめたい。

次にKSCC(駒沢スポー
ツ・文化クラブ)の代表、原氏。
駒沢小学校の新築に伴い、スポ
ーツ、文化活動を通じて、子ど
もの健全育成と駒沢小学校の施
設利用を軸として、地域の絆づ
くりを目標に、平成21年4月に
発足した。各種の団体と、地域
住民の自主運営による16のス
ポーツと文化クラブで、現在520
名が活躍中との説明。
コミュニティーネットワー
ク・ウェーブ一宮さん。
地域に根ざした幅広い活動を
様々な形で行っている。地域福
祉事業、介護事業をとおして地
域の絆づくり、会報、ホームペ
ージの作成、だれでもサロン、
バザー、学習会など、地域に根
ざした幅広い活動を様々な形で

行っている。

活動紹介の後、約70名の参加
者が、テーブルごとに各団体、
グループ間の連携関係づくり
に必要なもの、今あるもので活用
できるものなどの話がもたれま
した。高齢者が増加する中、生
活や医療で複数の課題が暮らし
を難しくしている場合もありま
す。高齢化に社会での地域全体
で取り組み支える活動の重要性
がますます高まっている中で、
高齢者見守りネットワーク会議
の今後が期待されるところです。

今回は平成27年3月です。
編集委員 園田 俊吉



上馬公園『自然と親しむ体験フェスタ』

秋晴れの心地よい土曜日、上馬公園の周囲に、色とりどりの旗が立ちました。

去る10月25日(土)、上馬東町会の主催で中里商店街・世田谷警察署・世田
谷消防署などの協力を得て「実りの秋を子どももおとなも美味しく楽しもう」
というスローガンをかけてイベントが行われました。

公園内には、いくつかのテントが張られて準備は完了。11時には、宇佐見町
会長のご挨拶で、開会式が始まりました。

メインは、公園の隅に立つ一本の柿の木、この実を竹の棒でもぎとる昔なが
らの柿もぎ体験です。「柿の皮むき」や「柿の実の重さ当てクイズ」「柿を使っ
たお料理のレシピ紹介」など、もりだくさんの内容でした。

「竹の棒が重くて、たいへんだった」という小学四年生男子や「パパとやっ
て楽しかった」という四才の女の子、「重さ当てでピタリ賞だったのでうれしい」
という小学六年生の女子の感想がありました。柿の実の甘味と渋味の違いが分
かるように試食まで用意されていました。

その他のテントは、綿あめやとん汁販売コーナー・古着回収・のら猫対策の
PRと募金コーナー・消防コーナー・電力コーナー・川場村からの産地直送品の
販売などもあり、それぞれのコーナーには、ご家族づれや子どもたちが集まり
にぎわっていました。

会の終了時には、中里ことぶき会の俳句部により、応募作品が貼り出されま
した。子どもから大人までの多くの応募作品から選ばれた5句をご紹介します。

最後に、このイベントを企画・立案・実行した町会の役員さん方にお話を伺
いました。「長い時間をかけて話し合い、智恵と力を結集させて、今日開催でき
てほっとしています」「赤いはっぴも作ったので、今後もこのような会を続けて
いきたいと考えています」

晴天に恵まれ、町会の人々の絆も改めて強く結ばれたフェスタでした。

編集委員 田村 幸子

柿の実に もすがつえばむ 日和かな
 樋原玲子さん
 いつの間に 柿の実ふくら 秋の空
 飯田洋子さん
 天高く ほうせきみたいな かきたちだ
 田辺なこみさん
 甘柿は これだと子ども 竹で突く
 荻野一男さん
 あきのあじ かきはおいしい みかくだね
 さとうゆづきさん



『地域の絆ネットワーク支援事業』とは、地域の活性化に取り組む事業に対して区が補助金を交付するものです。

平成26年度、右記6団体が上馬地区で活動しています。

事業名	団体名
上馬公園『自然と親しむ体験フェスタ』	上馬東町会
上馬ふれあい作品展	世田谷高齢者クラブ協議会第七ブロック
猫も人もハッピー運動	野良猫対策委員会
小泉公園ふれあいフェスタ	小泉公園ふれあいフェスタ実行委員会
駒沢ドッグストリート・プロジェクト	駒沢ドッグストリートプロジェクト
上馬2丁目花いっぱい運動	上馬北部町会

猫も人もハッピー運動

「地域の絆ネットワーク支援事業」

平成26年度こんなキャッチフレーズの活動が、上馬地区ではじまりました。

そもそもは(野良?)猫の鳴き声や糞、オシッコについての苦情・相談が上馬東町会に寄せられたことがきっかけです。何か良い対策がないだろうか、町会役員が世田谷区やボランティア団体チームSLPからアドバイスをいただきました。世田谷保健所生活保健課衛生事業係から「地域での取り組みを支援します」との言葉をいただき、有志で『野良猫対策委員会』を発足させました。この活動は、地域の絆ネットワーク支援事業の補助金を申請し、助成を受けています。

活動は『住民』『ボランティア』『行政』の三者協働の協力に対応していくことが大切とのこと。課題山積ですが、住みやすいまちとなるよう活動していきたいと思えます。

以下、会則の一部をご紹介します。

「目的」地域の困りごとになっている野良猫に関して、正しい知識を得、不妊去勢手術を施すためのカンパ協力活動を地域に向けて行い、人にも動物にも快適な環境をつくることを目的とする。

「活動内容」

- (1)野良猫に関する啓発・PR事業
 - (2)不妊去勢手術に関すること 等々
- 代表 板垣吉郎

ボランティアのあり方

町会が、外猫解決について前向きに取り組むはじめたことに大賛成です。では、外猫ボランティアの有り方はどうでしょうか?日々トラブルが絶えませんが、一番は「餌」やりです。あつる時、気が付いたら、敷地内はもろもろ、駐車場、道路、遊歩道、公園と山のように放置された「餌」。長い間放置され雨に晒され蟻がついたものを外猫は喜ぶでしょう

か?折角時間を費やし『かわいい外猫のために餌をあげよう』と思うのでしたら、場所をお借りして、汚さないように、残った餌は置きっ放しにせず、片付けて、外猫が少しでも周りの人に迷惑をかけないようにと注意を払ったら、トラブルのひとつが解消するのではないのでしょうか? 今泉順子

猫も人もハッピー

2014年6月付の某新聞に「野良猫を(地域猫)」と題し、区内初の「野良猫の殺処分0(ゼロ)」を実現した千代田区の紹介があった。私が注目したのは「地域猫」と云う呼称である。此の呼名に温かい人間愛が感じられて、嬉しかったのである。千代田区は、ボランティア団体と協力して、地域住民が野良を地域猫として共同飼育する。「丸の内では、夕刻になると猫が集まる一角が有り、周辺で働く会社員らが毎日餌をやっている。云々」何とも心地良い、素敵な風景ではないか。世田

谷でもこんな景色が隅々にまで広がれば猫も人もハッピーだと思う。 編集委員 小林峰子



チームSLPについて

地域ごとにその場所で活動参加者を求めながら、実践活動を実施し、最終的には地元へ引き継いでいくかたちで活動を展開中

1. 問題の調査猫数、状態、問題点明確化
2. 活動の告知(資金調達、情報収集、協力と意見の呼びかけ)
3. 避妊去勢手術、疾患猫の治療、里親探し
4. 明確になった問題の解決(地域や地方自治体との話し合い等)
5. 捨て猫、虐待などの犯罪防止対策
6. 手術済み猫の長期的な調査(マナーの徹底(連絡網を広げる))
7. 定期的なレポート報告(地方自治体、地域住民へ)
8. 猫を飼育する飼い主へのモラルの呼びかけ等々

野良猫についての困りことは、左記へご連絡ください。

世田谷保健所

生活保健課衛生事業係
543212908

ボランティア団体

チームSLP 田矢
Saving Life Partner
090-1651-8946

上馬まちづくりセンター
342217415

歳末たすけあい地域

ささえあい募金
ご協力いただき
ありがとうございます
募金額ニ、〇二二、九七八円

編集後記

梅の花が咲き、桜がほころび始める三月は卒業の季節。幼稚園から小学校・中・高・大学、そして永年勤めた社会人から解放される定年の方々は「苦勞様」です。決断の時期でもありません。誰にも若い頃は「夢」と「希望」に満ち溢れています。どうぞ卒業を機に「ステップアップ」を祈念しています。

編集委員長 棧敷マリ子